

病院長に聞く

富山ろうさい病院 院長 ひらの のりかず
平野 典和



新年のご挨拶 新型コロナにならないための方法



明けましておめでとうございます。本来ならば新たな年を皆様と寿ぎたいところですが、新型コロナ感染症の蔓延が心配される年明けとなりました。このご挨拶は昨年の12月はじめに書いているものですが、最近市内にも感染された方が見られるようになりました。すでに国内の大都市部などでは感染者が激増しており、当地域でも今後の状況が危惧されるところです。感染された方々には順調な回復をお祈りしたいと思います。

少し前になりますが、国立国際医療研究センター病院の大曲貴夫先生がNHK ラジオの「三宅民夫のマイあさ！」という番組に出演しておられました。先生は感染症やその危機管理の専門家で、平成元年には当院にお招きして院内感染に関してご講演をいただきました。日本における新型コロナ感染症対策の最前線に立っておられる方です。昨今の新型コロナ感染症に関する報道番組などでも頻繁に取材を受けておられますので、ご存じの方も多いのではないのでしょうか。番組では新型コロナ感染症に関する三宅アナウンサーの質問にわかりやすく答えておられました。最後に「新型コロナにかからない方法がありますか」という質問に対して先生はあっさりと「ありますよ」と答えられたので、思わず聞き耳を立ててしまいました。先生によれば新型コロナ感染症は風邪の仲間なので風邪にかからないようにすることがコロナの予防にもなるとのことでした。すなわち、普段から十分な栄養、休養や睡眠をとることが最も重要であるとのことでした。大曲先生はどんな多忙であっても7時間は睡眠をとっているとのことでした。当然といえば当然の予防法ですが、大曲先生のお言葉は感染症は病原体と個人の免疫力との攻防であり、感染の防御には日常の生活管理が最も重要であることを改めて認識させられるものでした。もちろん、マスクの着用やいわゆる三密の回避、あるいは手指衛生の徹底は言うまでもありません。今年はワクチンの登場なども期待できそうですが、当面は厳しい戦いが続きそうです。皆様のご自愛を改めて祈念する次第です。

なお、大曲貴夫先生には今年4月に当院でのご講演をお願いしておりますので、皆様にも広くお聞きいただけるようにしたいと考えております。



発行：独立行政法人労働者健康安全機構富山ろうさい病院 地域医療連携室

富山ろうさい病院だよりは、当院ホームページにも掲載しています。

【連絡先】0765(22)1280(病院代表)

E-mail：chiki2@toyamah.johas.go.jp